

事務事業名	ふるさと応援寄附事業	外部評価の状況	事務事業No.	232 - 15
		なし		

**1. 基本情報**

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
経済部	特産品振興・ふるさと応援課	ふるさと応援係	主事	吉岡 功	課長	今林 直久
施策体系	総合計画	政策	2	行政経営		
		施策	3	財政の健全化		
		基本事業	2	市税等自主財源の適切な確保		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	地方税法等の一部を改正する法律					
事業開始年度	平成20年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

**2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）**

概要	飯塚市のまちづくりを応援したい、貢献したいと希望する人からの厚意を寄附という形で行っていただき、まちづくりの財源として活用するもの。					
対象	働きかける相手・もの	飯塚市のまちづくりに対して、応援を希望する人（主に市外居住者）				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	あらゆる機会を通じて、ふるさと応援寄附制度のPRや、ホームページでの制度の啓発活動を行うとともに、寄附者に対し、お礼の品を送付する。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	飯塚市ふるさと応援寄附制度への利用者拡充とともに、地場産品の販路拡充に繋げる。				

**3. 活動指標（決算成果説明書と連動）**

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
ふるさと納税ガイドブックの配布数	部	地元高校同窓会等への配布	2,213	2,140	2,100
返礼品新規登録数	件	新たに返礼品を追加した数	109	132	100
返礼品事業者新規登録数	件	新たに返礼品事業者を追加した数	18	29	20

**4. 成果指標（決算成果説明書と連動）**

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
寄附の申込件数	件	前年度目標値より増 目標値	100000	250000	500000
	方向性	達成目標年度 実績	376968	574043	
説明	増加	毎年度 達成率	376.97%	229.62%	
寄附の申込金額	千円	前年度目標値より増 目標値	1400000	3000000	6500000
	方向性	達成目標年度 実績	4376539	6563981	
説明	増加	毎年度 達成率	312.61%	218.80%	
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
			目標値		
説明	方向性	達成目標年度 実績	#DIV/0!	#DIV/0!	
	達成率				

**5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）**

予算科目・事業	会計	1 一般会計	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 企画費	
	大	6 ふるさと応援寄附事業費	中	1 ふるさと応援寄附事業費	他	- 事業			
投入人員 (当該事務事業に対して 1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)			
	正職員	1.05 人 8,274	1.90 人 15,573			1.90 人 15,573			
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0			
	会計年度	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0			0.00 人 0		
		1級パート	0.50 人 857	0.67 人 1,343	新規返礼品の増・新規ポータルサイトの増等により、寄附件数及び寄附金額が大幅に増えたため、関連する記念品料・手数料等が増額となったもの。		0.50 人 1,002		
		2級パート	0.70 人 1,782	0.80 人 2,107			0.80 人 2,107		
	人件費計(A)		10,913	19,023			18,682		
事業費	直接事業費(B)	2,644,999	4,248,395			4,168,826			
	総事業費(A+B)	2,655,912	4,267,418			4,187,508			
直接事業費のうちの 主な歳出内訳	記念品料(返礼品費)	1,941,677	3,161,485			3,000,834			
	事務代行手数料・ポータルサイトサービス利用料	646,202	983,636			999,214			
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0			0			
	国・県支出金	0	0			0			
	市債	0	0			0			
	一般財源	10,913	19,023			18,682			
	その他(ふるさと応援基金繰入金等)	2,644,999	4,248,395			4,168,826			

**6. 事務事業の事後評価★**

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価 (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	市への応援希望者による寄附のため、市が関与することは妥当である。
	目的の妥当性	妥当	財政の健全化及び地域経済の活性化につながるため妥当である。
	対象（受益者）の妥当性	妥当	飯塚市のまちづくりに対して応援を希望する全国の方が対象のため妥当である。
効率性 評価 (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地あり	市全体の取組みとして連携を行うことにより、省力化が可能。また、効果的なアウトソーシングを検討し、市の業務効率化が可能である。
	負担割合の適正化	適正	受益者負担の対象となる事業ではないため適正である。
	手段の最適性	最適	市のホームページや複数の民間のポータルサイトを利用して寄附を募っており、このほかの手段はないため、最適である。
有効性 評価 (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	寄附件数・寄附金額ともに見込みを上回っており、目標は達成された。
	上位施策への貢献度	貢献できた	ふるさと応援寄附金が市のまちづくりの財源になっているため、貢献できた。
	事業継続の有効性	ある	自主財源確保の観点から、次年度以降も事業継続は必要である。

**7. 前年度評価時の計画と実績**

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	新たな地場産品の開発等による返礼品の拡充、従来掲載している返礼品の魅力を引き出せるようなページ作成など返礼品情報の充実を図り、ポータルサイトのサービスで出来るPRを積極的に活用する。
一次評価	①コスト・成果ともに拡充	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	職員不足のため満足に出来ていない新規返礼品事業者開拓のための営業活動と既存の事業者への新規返礼品開発の相談。 新規ポータルサイトの検討。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

事業者訪問を行うことで新規返礼品については100品以上追加し、既存の返礼品についても画像等のブラッシュアップを委託事業者に無料で実施してもらった。また、WEB広告を活用したPR強化・申込サイトを2つ追加する等して、寄附の申込件数、金額ともに前年度より大幅に増加した。

**8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★**

【成】 返礼品の増（開拓）、サイト事業者のサービスでのPR、申込みサイトの追加等により、寄附件数・寄附金額ともに見込みより大幅増となった。

【課】 引き続き、新たな地場産品の開発・経費削減等をしながら、基金の使途について、寄附者を含む全国の方々に発信し、返礼品の魅力だけでなく趣旨に対する賛同を募り、飯塚市全体のPR強化に努める。

**9. 今後の事業の方向性と改善策**

成果の方向性	拡充	④	②	①	評価区分	事務事業の方向性
	現状維持				③	⑤
縮小	⑥	二次評価	①コスト・成果ともに拡充			
休・廃止	⑦	休・廃止	縮小	現状維持	拡充	
コスト投入の方向性						

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★

コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	新たな地場産品の開発等による返礼品の拡充、従来掲載している返礼品の魅力を引き出せるようなページ作成など返礼品情報の充実を図り、ポータルサイトのサービスで出来るPRを積極的に活用する。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	広告を活用したPR強化や新規ポータルサイトの検討。

評価変更理由	一次評価のとおりとする。 コストを拡充しており、活動として新たに取り組む説明があったので、それは事業シートに見えるように表記してほしい。
--------	---